



みんなのできる 地球温暖化防止活動

—電気自動車で率先垂範、推進員活動をしています—

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

■大川、阿賀川、阿賀野川

岐阜から転勤があり、2007年から会津若松市にお住いの新山敦司さんは、生協(CO-OP)にお勤めです。「大川や湯川の水量が、年々減ってきていると感じます。今年は大雪でしたが、降雪が少なくなっているのでしょうか」と心配顔です。大川は会津の人たちに様々な恵みをもたらす川です。阿賀川が正式名称で、新潟県に入ると阿賀野川と名称が変わります。「会津は自然豊かです。自然に触れることが多くなれば、地球温暖化防止にもつながると思います。」

■推進員になったきっかけ

「岐阜の時代に、推進員になりました。2000年です。」新山さんは、生協の仲間たちと、1997年12月に開催されたCOP3(地球温暖化防止京都議定書)に参加し、世界中から集まった人たちと交流したり議論をすることで、地球温暖化はこれまでの公害とは違い、地球規模の問題であることを理解したと言います。

「環境問題に対する取組みのスタートでした。」

推進員は、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、各県の知事が委嘱します。新山さんは2000年に岐阜県知事から委嘱され、会津に転勤してから、福島県地球温暖化防止活動推進員になりました。

■日産自動車の電気自動車「SAKURA」

「SAKURAに2年前から乗っています。」エアコンの設定温度の適正化、省エネ家電への買い替えなどを計画的に行い、2007年と比較すると、温室効果ガスの二酸化炭素(CO₂)排出量を65%も削減したと言います。「地球温暖化防止活動で大切なことは、小さいことでも良いので実行することなんです。最近では、家庭から出るゴミを少なくすることに取り組んでいます。」推進員として、率先垂範で取り組んでいます。

■みんなのできる地球温暖化防止活動

新山さんは、少し前までは会津若松市環境審議会の委員、現在は会津若松市廃棄物処理運営審議会の副会長を務めています。

「柳原町内会や一箕町町内会での勉強会の講師も務めました。講師は自分の学びにもなります。昨年10月に鶴ヶ城体育館で開催した第32回環境フェスタにも出席して、ブースに立寄った人に環境と財布に優しいエコ運転を説明し、実行しますと返事がありました。」

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>